

国民体育大会代表選考基準

1 選考人数

日本スポーツ協会公認指導員コーチ1資格取得者（監督兼任選手）を含む3名

2 出場資格

（1）全日本銃剣道連盟登録会員であり、居住地及び勤務地が長野県であること

（2）ふるさと選手登録をしたもの

※ふるさと選手は中学校及び高等学校が長野県で一度登録したふるさととは変更できないものとし、原則1回につき2年以上、2回まで

3 選考方法

（1）長野県選手権大会において成年男子及び少年男子の選手選考試合を実施

ア 成年男子はトーナメント方式を採用し、優勝者は代表とする。上位2名にコーチ1資格者が含まれている場合は2位までが代表となる。長野国体までの期間においては30歳未満の中から1名選手枠を設け、青年大会入賞者等考慮し選考委員会で審議し決定する。

イ 少年男子はリーグ戦を採用し、参加人数によりブロックを分け、上位者で決定戦を行う。

ウ 試合は3本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝負が決しない場合は、延長2分とし決しない場合は判定とする。

4 用具の規格

ア 面の前垂れ幅10cm以上長さ11cm以上 面紐40cm以内

イ 肩 袖の長さ10cm以上を標準

ウ 木銃 全長166cm（少年133.5） 全重量1,100グラム以上（少年800グラム以上）

5 不服申立

選考委員2／3以上の参加で選考会終了後決定し、選考できない場合は後日通知する。通知後1週間以内に委員会に不服を申立し、結果については後日通知する。